

北海道がん対策推進計画

(平成30年4月～平成36年3月)

推 進 状 況

平成31年3月

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
(1)がんの1次予防			
①たばこ対策			
<ul style="list-style-type: none"> ○ たばこが健康に与える影響について、普及啓発を行うとともに、社会全体で未成年者や妊婦が喫煙しない環境づくりやたばこをやめたい人が、身近なところで禁煙支援が受けられる環境の整備など、喫煙率の減少等に向けた施策を推進します。 ○ 特に胎児や新生児、乳幼児などの発育期におけるたばこの影響を低減するため、女性をはじめ妊産婦や同居する家族などを対象とした禁煙指導や普及啓発などを推進します。 ○ そのほか、受動喫煙の防止については、現在、国が検討している健康増進法の改正等を踏まえた対応を行うほか、公共施設等での禁煙・分煙化や道民に対する普及啓発を進め、受動喫煙防止の促進に向けた施策に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関と連携し、禁煙週間に合わせ禁煙パレードや「No-Tobacco」展を開催しました。 ● 道立保健所において禁煙相談窓口を設置するほか、たばこの健康影響に関する普及啓発を実施しました。 ● 「おいしい空気の施設」の登録促進を行い、受動喫煙防止に取り組みました。 ● 改正健康増進法に基づく受動喫煙防止対策の円滑な推進を図るため、「受動喫煙防止ゼロ普及啓発説明会」を道内6箇所で開催しました。 ● 学校からの依頼に基づき、未成年者喫煙防止教育を実施しました（参考：H29年度30校）。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道健康増進計画の目標達成に向けて、市町村や関係機関等と連携しながら一層の普及啓発が必要です。 ● 改正健康増進法の趣旨を踏まえ、受動喫煙防止施策の一層の推進が必要です。 	
②生活習慣			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣の改善については、飲酒、食事の量やバランスの改善、適度な運動による適切な体重の維持など、成人への普及啓発を推進のほか、小・中・高等学校の生徒等への健康教育などの施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道民健康づくり推進週間等を通して、健康的な生活習慣の普及啓発を実施しました。 ● 学校からの依頼に基づき、拠点病院の協力を得て、道内小学校においてがん教育出前講座を実施しました（実施27校）。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道健康増進計画の目標達成に向けて、取組を進めるほか、がん教育についても児童への望ましい生活習慣の普及を図るため、継続が必要です。 	

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
③感染症等対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウィルス感染や生活環境によるがんの発症リスクについて、道民自ら予防行動がとれるよう正しい知識の普及などの施策を推進します。なお、HPVワクチンについては、接種のあり方などの国の対応状況について、適宜、情報提供を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページへの掲載やリーフレット等の配布により、正しい知識の普及啓発活動を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染予防やHPVワクチン接種の国の動向を把握し、適切な情報提供が必要です。
(2)がんの早期発見・がん検診（2次予防）			
①受診率向上対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診の受診促進については、引き続き受診率向上に向けた普及啓発を推進するほか、検診無料クーポン事業の継続及び対象疾病の拡大を国に要請するなど、受診しやすい環境づくりとともに、道民ががん検診の意義を正しく認識するための施策を推進します。 ○ また、がん検診と特定健診との一体的な実施のほか、がん検診の手続きの簡便化、コール・リコールなど効果的な受診勧奨の徹底、職域のがん検診との連携など、がん検診受診率の向上に向けた施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道本庁舎1階設置のデジタル広告を活用した広報や、関係団体との共催による市町村や職域を対象とした会議における普及啓発を実施しました。 ● がん対策の推進に関する連携協定締結企業と連携し、がん検診等に関するリーフレットを配布するなどして、普及啓発を実施しました。 ● がん検診受診に係る財源措置等について、国へ要望を提出しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん検診受診率は全国と比較すると低い状況にあることから、引き続き市町村等と連携を図りながら受診率向上の取組が必要です。

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
②がん検診の精度管理等について			
○ 市町村や検診実施機関が実施するがん検診の実態の把握を行い、分析・評価を行うなど、検診精度の維持・向上が図られるための施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 市町村別がん検診受診率の情報提供や、市町村担当者を対象とした受診率向上を図るための研修会を開催しました。 ● 市町村がん検診の評価を実施し、がん検診部会での協議を経て市町村に対し精度管理の向上に向けての通知を発出しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市町村及び検診機関に対し、がん検診チェックリスト及びプロセス指標を用いた事業評価を行い、質の高いがん検診の実施を促すことが必要です。 	
③職域におけるがん検診			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 職域における事業主や保険者が実施するがん検診を支援するため、正しいがん検診が実施できるよう必要な情報提供を行い、がん検診の実施を促進するための施策を推進します。 ○ 職域と市町村の連携による、配偶者への効果的な受診勧奨の取組の促進など、企業等と連携した受診率向上対策を一層推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道がん対策サポート企業の登録促進を行いました（新規登録7件）。 ● 職域におけるがん検診が制度化されるよう、国へ要望を提出しました。 ● 企業に対し、従業員に対するがん検診の実施状況の調査を実施しました。 ● 配偶者のがん検診の受診を促進するため、市町村が実施する検診の情報を協会けんぽに提供するとともに、ホームページに掲載しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道がん対策サポート企業登録制度などを通して、企業（職域）におけるがん検診の実施促進が必要です。 ● 実施した調査の結果を活用し、今後の施策展開の検討が必要です。 	

2 患者本位のがん医療の実現

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
(1)がんの手術療法・放射線治療・薬物療法等の充実			
①がん医療提供体制			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 拠点病院等と地域の中核となる医療機関との連携や小児がん拠点病院、高度がん診療中核病院の機能が十分発揮されるための施策を推進します。 ○ 北海道がん診療連携協議会との連携により、がん診療に関する情報交換やがん登録データの集積と分析・評価、医療従事者等の研修、拠点病院等への診療支援、医師の派遣調整など、拠点病院間の連携によるネットワークづくりを進めます。 ○ 未整備圏域への拠点病院等の整備に向けた働きかけを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院の指定更新において既指定病院を推薦しました。 ● がん診療連携協議会及び同部会において関連情報の共有などを図りました。 ● がん診療連携拠点病院及び北海道がん診療連携指定病院の現況報告により、当該病院のがん医療の状況把握を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん医療提供体制の充実、強化が図られるよう、引き続きがん診療連携協議会と連携する必要があります。 ● がんの拠点、地域診療、道指定の病院が未整備の圏域に対する働きかけが必要です。 	
②各療法等			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 拠点病院等における手術療法、放射線療法及び薬物療法などを効果的に組み合わせた集学的治療が実施されるための施策を推進します。 ○ 免疫療法については、科学的根拠のあるものとそうでないものがあることがわかるよう道民への情報提供を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん診療連携協議会及び同部会において関連情報の共有などを図りました。 ● がん診療連携拠点病院及び北海道がん診療連携指定病院の現況報告により、当該病院のがん医療の状況把握を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 同上 	

項目	平成 30 年度			
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等	
③チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拠点病院等における集学的治療等の提供体制の整備、カンサーボードの実施、医科歯科連携、薬物療法における医療機関と保険薬局との連携、栄養サポートやリハビリテーションの促進など、多職種によるチーム医療を実施するための施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん診療連携協議会及び同部会において関連情報の共有などを図りました。 ● がん診療連携拠点病院及び北海道がん診療連携指定病院の現況報告により、当該病院のがん医療の状況把握を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん医療提供体制の充実、強化が図られるよう、引き続きがん診療連携協議会と連携する必要があります。 ● がんの拠点、地域診療、道指定の病院が未整備の圏域に対する働きかけが必要です。 	
④がんゲノム医療	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国のがんゲノム医療に関する検討状況を踏まえ、道内における医療提供体制の構築に関する施策を推進します。 ○ ゲノム医療に関する情報提供を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がんゲノム医療中核拠点病院に北海道大学病院が指定（H30.4～H32.3）され、同病院の連携病院として札幌医科大学付属病院、北海道がんセンター、旭川医科大学病院、市立函館病院が指定（H30.10～）されました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がんゲノム医療に関する情報収集や状況把握のため、同病院との連携を一層促進することが必要です。 	
(2)後遺症対策等	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんの副作用・後遺症について、医療従事者に対する知識・技能の向上に関する施策を推進します。 ○ がんの副作用・後遺症について、道民への理解の促進に必要な施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● リンパ浮腫医療従事者研修会を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 後遺症対策の一層の充実と医療従事者の資質向上を図るため、引き続き取組が必要です。 	

項目	平成30年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
(3)女性特有のがん、希少がん、難治性がん			
①女性特有のがん			
○ 女性特有のがん対策については、たばこが若い女性の健康に与える影響についての普及啓発を行うとともに、性別や職業等に関わらず道民すべてが女性特有のがんの特性を理解するための施策を推進し、女性ががん検診を受診しやすい環境づくりに向けた施策を推進します。	● 女性の健康週間におけるパネル展において、乳がん、子宮頸がんに関する普及啓発を実施しました。	● 様々な場面を利用した普及啓発が必要です。	
②希少がん			
○ 希少がん対策については、希少がんに関する道民の理解の促進や、適切な情報提供、相談支援が行える体制の整備を進めます。	● 患者支援団体などとの共催によるイベント等を通して普及啓発を行いました。	● 同上	
③難治性がん			
○ 難治性がん対策については、難治性がんに関する道民の理解の促進、拠点病院等や小児がん拠点病院を中心とした関係医療機関との連携や、適切な情報提供、相談支援が行える体制の整備を進めます。	● 同上	● 同上	
(4)小児がん、AYA世代のがん及び高齢者のがん			
①小児がん			
○ 小児がん拠点病院を中心とした地域の医療機関との連携や情報提供、相談支援を行う連携体制を構築します。	● 北海道地域小児がん医療提供体制協議会において、情報共有等を図りました。	● 小児がん医療提供体制の充実、強化が図られるよう、引き続き小児がん拠点病院である北大病院と連携する必要があります。	

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
②A Y A世代のがん			
○ A Y A世代のがん患者が利用可能な制度や相談機関等が十分に活用されるよう施策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページにおいて利用可能な障害年金等の支援制度の情報提供を行いました。 ● がん診療連携協議会相談・情報部会会議への出席により、関連情報の把握と共有を行いました。 	● 引き続き制度の周知や、相談に応じる関係機関等の情報提供などの取組が必要です。	
③高齢者のがん			
○ 拠点病院等を含む地域の医療機関や介護施設等が連携し、高齢者のがん患者やその家族の意思決定に沿った治療や支援につながる施策を推進します。	● 同上	● 同上	
(5)がん登録			
<ul style="list-style-type: none"> ○ がん登録情報等に基づき、がんの罹患状況や生存率等のがん登録情報を用いて、地域ごとのがんの状況を分析し、効率的・効果的な施策を推進します。 ○ 個人情報に配慮しつつ、がん登録によって得られた情報等を利活用することによって、道民のがんに対する理解の促進やがん患者やその家族の医療機関の選択等に資するよう、道民への情報提供を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん登録・評価事業により、北海道のがん登録状況をとりまとめ、公表しました。 ● がん診療連携協議会がん登録部会会議等への出席により、関連情報の把握と共有を行いました。 	● がん登録情報から二次医療圏ごとのがん罹患の状況などの分析を行うなどし、課題の抽出と施策の検討を行うことが必要です。	

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
(1)がんと診断された時からからの緩和ケアの推進			
①緩和ケアの提供			
○ 拠点病院等を中心として、診断時から患者の苦痛のスクリーニングを行うとともに、緩和ケアチームなどによる質の高いケアの提供や多職種との連携による緩和ケアの提供体制の充実に向けた施策を推進します。	● がん診療連携拠点病院及び北海道がん診療連携指定病院の現況報告により、当該病院のがん医療の状況把握を行いました。 ● がん患者・経験者に対し、緩和ケアに関する認識や満足度に関する調査を実施しました。	● 拠点病院等が行う緩和ケア研修会の開催状況を把握するほか、必要に応じて拠点病院からの照会に対し国へ確認するなどの対応が必要です。	
②緩和ケア研修会			
○ 現在、国が検討している緩和ケア研修会の開催指針の見直しを踏まえ、拠点病院等と連携し、新たにグリーフケアのプログラムを加えるなど、研修会の充実に向けた施策を推進します。	● 同上	● 同上	
③普及啓発			
○ 拠点病院等と連携し、引き続き緩和ケアの意義や必要性に関する普及啓発などの施策を推進します。	● 同上	● 同上	
④在宅緩和ケア			
○ 在宅や施設等において、がん患者が適切な緩和ケアが受けられるよう、在宅療養支援診療所や保険薬局、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所などに対する緩和ケアの知識の普及を図り、地域における連携体制の構築や在宅医療・介護の提供体制の充実に向けた施策を推進します。	● 同上	● 同上	

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
(2)相談支援、情報提供			
①相談支援			
<ul style="list-style-type: none"> ○ がん相談支援センター間や地域の医療機関との情報共有、協力体制の構築など患者団体とも連携をしながら相談体制の維持・確保に向けた施策を推進します。 ○ 相談支援センター等の相談員の資質向上に向けた施策を推進します。 ○ 患者サロンやピア・サポート等の患者・家族の支援体制について、医療関係者や道民にその有効性について周知を図るとともに、相談員やピアサポーターの質の確保に向けた施策を実施するほか、患者団体間の相互理解と連携の促進、道と患者団体との協力関係の構築に向けた施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん診療連携協議会相談・情報部会会議において、情報共有等を図りました。 ● がん相談員スキルアップ研修において、がん対策の動向について説明しました。 ● 北海道がん患者連絡会会議において、情報共有等を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん診療連携協議会やがん患者団体等と連携し、引き続き相談支援の充実、強化に努める必要があります。 	
②情報提供			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 国や道、市町村・拠点病院等が適切な役割分担のもと、患者団体や企業等と連携しながら、適切な情報共有・情報提供などの施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページによる情報配信や、北海道がん対策サポート企業等登録制度に登録の企業等へ適宜情報提供を行いました。 ● 患者団体等が実施するイベント等について、ホームページに掲載により情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページを始め、あらゆる場面を通してがんに関する普及啓発を進める必要があります。 	

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
(3)がん患者等の就労を含めた社会的問題（サバイバーシップ支援）			
①就労支援			
<ul style="list-style-type: none"> ○ がん患者が診断時に安易に離職することがないように、拠点病院等と連携して必要な情報を提供し、両立支援に関する施策を推進します。 ○ また、拠点病院等やハローワークなどと連携し、長期に療養しているがん患者の復職支援に必要な相談支援体制の維持、向上に関する施策を推進します。 ○ がん患者を雇用する就業環境の整備など、企業が、がん対策に取り組むための施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関と連携し、がん患者就労支援研修会を開催しました（道内4カ所）。 ● 治療と仕事の両立支援や、長期療養者就職支援に係る協議会へ参画し、現状把握や関係機関等による情報共有を図りました。 ● がん患者・経験者及び企業を対象とした就労支援に関する調査を実施しました。 ● がん対策サポート企業等登録制度の登録企業等を参集したサポート会議において、取組事例などについて情報共有を図りました。 ● 患者支援団体などとの共催によるイベント等を通して普及啓発を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度実施した調査の結果も考慮しつつ、企業におけるがん患者の就労支援が一層推進されるための取組が必要です。 	
②就労以外の社会的問題			
<ul style="list-style-type: none"> ○ がんに対する偏見等がなくなるよう児童生徒だけでなく、道民に対し、がんに関する正しい知識が得られるよう必要な施策を推進します。 ○ がん患者の自殺防止など、精神心理的なケアにつなぐための施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者支援団体などとの共催によるイベント等を通して普及啓発を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き関係団体などと連携した事業や、ホームページなどによる情報提供が必要です。 	

項目	平成 30 年度		
	主な取組	評価	がん対策推進委員会からの意見等
(4)がん教育、がんに関する知識の普及			
①がん教育			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係団体、拠点病院や患者団体等と連携し、児童生徒等を対象としたがんの予防や早期発見等のがん教育に関する施策を推進します。 ○ 関係団体、拠点病院や患者団体等と連携しながら、適切ながん教育が実施されるようがん教育実施校の事例などをもとに、課題分析等を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校からの依頼に基づき、拠点病院の協力を得て、道内小学校においてがん教育出前講座を実施しました（実施27校）。 ● 小学校高学年向けがん教育教材（DVD）を作成しました。 ● 道内中学・高等学校において、がん教育総合支援事業を行いました（教育庁主管：8校） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校においてがん教育が円滑に進められるために、拠点病院や患者団体などの一層の連携が必要です。 	
②がんに関する知識の普及			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 道民が正しい知識を得られるよう、関係団体、医療機関、患者団体等と連携し、引き続き、がんに関する正しい知識の普及啓発などの施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん予防道民大会やホームページにより、がんに関する普及啓発を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページを始め、あらゆる場面を通してがんに関する普及啓発を進めることが必要です。 	
(5)道民運動の推進			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 道民運動の推進については、自らががんに関する正しい理解を深め、がん対策に参加できるよう、条例の理念に基づき、道、市町村、保健医療福祉関係者、教育関係者、事業者及びがん患者等を含む道民の適切な役割分担の下に一体となって施策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道がん対策「六位一体」協議会の構成員として、北海道がんサミット2018を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● がんに関する知識の普及や、道民運動としてのがん対策の展開のため、引き続き左記協議会の各構成員による各種取組や、ホームページ等でのがんに関する普及啓発が必要です。 	